津山高校
第12号
県南クラブ
2006年8月1日発行
津山高校同窓会
岡山県南支部会報

平成17年度支部総会・懇親会を開催

支部長に産賀さん再選

津山高校同窓会岡山県南支部の平成17年度総会・懇親会が昨年7月10日、倉敷市の倉敷チボリ公園で開かれました。支部が再興されてから倉敷での総会開催は初めてです。

支部会員約120人のほか、来賓として同窓会本部から黒田泰子副会長、母校からは甲田春男校長らが出席されました。

総会では支部活動の報告、15年度と16年度の収支決算報告＝6ページ参照＝が原案通り承認された後、任期満了に伴う役員改選が行われ、支部長には産賀敏彦氏（昭和28年卒）が再選されました。

懇親会では“豪華賞品”が当たるジャンボ的当て、オカリナグループの演奏が行われたほか、母校や津山の近影を上映。あちこちで世代を超えた談笑の輪が広がり、大いに盛り上がりました。

次の総会は来年の予定です。お誘い合ってぜひご出席ください。

支部長以外の主な役員は次の皆さんです。

（敬称略）

- **副支部長**　竹本敷美子（昭和29年卒）、石原茂光（32年卒）＝以上新任
  有本正（25年卒）、小野温子（28年卒）、米戸金男（29年卒）、草野功（31年卒）＝以上再任
- **代表幹事**　筆保博文（34年卒）＝新任
- **副代表幹事**　後藤正子（42年卒）＝新任

写真はいずれも17年度総会・懇親会の一こま

ごあいさつ

支部長　産賀　敏彦

津山高校同窓会岡山県南支部会員の皆様、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

昨平成17年（2005年）には、私たちの母校津山高校が創立110周年を迎え、11月11日に記念式典が盛大に行われました。国重要文化財の旧本館を正面におき、清新な校舎棟、新築なった体育館や武道館をあわせて校舎施設の改築が完成し、素晴らしい教育環境が整備されましたことは誠に喜ばしく、県南支部会員の皆様と共に心からお祝いを申し上げたいと存じます。

また、これらの事業に御尽力されました各位に心から敬意を表し、御協力賜りました同窓会員各位に厚く御礼申し上げます。

校訓「畏天敬人」の訓えのもとに、後輩高校生諸君が、素晴らしい教育的、文化的環境を満喫し、人格と智力、体力、気力を養い立派な社会人に成長しておられますことは、私ども同窓生にとりまして真に喜ばしい限りでございます。

このように充実発展を続けておられる母校津山高校を心のふるさととして持つことのできる私ども同窓会員は本当に幸せであると思います。県南支部会員の皆様は、母校の発展を活力の源泉とし、後輩諸君の生ける目標として様々な分野、様々な方面でご活躍でございます。

そしてもう一つの活力の源泉が、歩こう会の広い活動範囲、十六夜絵画クラブの例会と研修、いざよいゴルフクラブの楽しい活動、カラオケ同好会の例会、詩吟同好会や短歌・俳句同好会の活動、釣り同好会の釣りとクルージング、登山同好会の山歩きなどの同好会活動でございます。

これらの活動によって、会員の皆様が相互の親睦を深めつつ、心身の健康を維持向上させ、毎日の活力を生み出し、日本の医療費削減に協力しておられますことは誠に素晴らしいことと思います。

母校の益々の御発展と会員皆様の益々の御健勝と御活躍をお祈りいたします。

（うぶか・としひこ、昭和28年卒）

昨年秋に行われた母校の創立110周年記念式典

前支部長 田寺英夫君のご逝去を悼む

有本　正

津山高校同窓会岡山県南支部の前支部長田寺英夫君が、去る4月6日、折しも満開の桜が散りゆくように、多くの人に惜しまれながら遠い国へ旅立たれました。

君は若い時から健康管理には特別気を遣っていたのに病魔に勝つことができず、遂に帰らぬ人になってしまいました。まことに哀惜の念に耐えません。

思えば君との付き合いは、昭和19年4月に旧制津山中学へ入学して以来、実に62年にわたる長きに及びました。とりわけ親しく交わるようになったのは、お互いに大学を卒業後岡山で就職してからで、職場が近かったためよく行き来して語り合い、また、私が困った時には相談に乗ってもらうなど、何かとお世話になったのを忘れることはできません。

その頃、君の主導で岡山とその近辺在住の同級生に呼びかけて「岡山十六夜会」を発足させ、以後今日まで年に2回、一度も途切れることなく続いているのは、君の力に負う所大なるものがあります。

この長い歳月の間には色々なことがありました。関西地区の同期会から招かれて、君と一緒に大阪、奈良、有馬などへ出掛けたのも懐かしい思い出です。反対に悲しい出来事もありました。元十六夜会員で、当時大阪の三菱銀行北畠支店長だった森岡浩司君が、殺人鬼梅川某に猟銃で射殺された事件は世間を震撼させました。早速、君とお通夜に駆け付け、友の非業の死に涙したものでした。

君は実業界で努力して名を成す一方、同窓会県南支部の活動にも長く貢献され、平成13年には推されて支部長に就任、体調がすぐれぬ中を支部発展のために尽力されました。

さらに、支部長退任後も母校の創立110周年の記念に、同級の福島隆壽画伯より絵画を寄贈する話を進め、現在新校舎の会議室に坂手得二先輩の作品と並んで飾られております。君がそれを見る機会が遂に無かったことは残念でなりません。

春秋2回の十六夜会をいつも盛り上げていた石原の奥ちゃん、河島の温ちゃん、片山（旧姓平井）の純さんなどの名物男が近年次々と世を去り、此の度は君までもが早々と逝ってしまい、淋しい限りです。今頃は天国で彼らと賑やかに十六夜会のＯＢ会を開いていることと想像しています。

田寺君、長い間本当に有難う。そしてお疲れ様でした。心よりご冥福をお祈り致します。

合　掌

（ありもと・しょう、昭和25年卒）

「十六夜会」メンバーと記念写真に納まったお元気な頃の田寺さん（前列左端）。その隣が筆者

会員近

牛窓を描き続ける

坂手 得二 さん

瀬戸内海を見下ろす瀬戸内市牛窓の「オリーブ園」そばの高台。赤い屋根とクリーム色の壁が印象的なアトリエを兼ねた自宅が建つ。

「オリーブ園から見る海がいい。南東の小豆島方向が最高。近景、中景、遠景すべてがリズミカルに見える。島と海が幾重にもかさなるので絵的には難しいが、一番おいしい所」

長らく教鞭を執った朝日高校を定年で辞めた翌平成4年、牛窓へ住まいを移し、オリーブ園での絵の制作に本腰を入れた。

「前景になるオリーブの扱い方が難しい。花が咲いているときは白く、冬は灰色っぽい。色は新芽が出てきたときが一番きれい」

「これからですよ」と制作意欲を燃やす坂手さん

「オリーブをまともに描けたのは、佐竹（徳）先生（注1参照）だけ。ルノアールやゴッホは納得できるが、セザンヌはもう一歩。モネはかなりうまくいっているが、迫力がない」と話す。

「私が尊敬している人は、80歳を過ぎてからいい仕事をしている。絵描きが100歳生きるとしたら、25歳までが“起”、50歳までが“承”、75歳までが“転”だ。自分を探して絵がどんどん変わってくる。最後の“結”になって、ようやく自分の道が見えてくるのではないか。70歳あたりからが画家としての“旬”の時だと思う」

ただ今、75歳。「これからですよ」

絵の道に進もうと思ったのは津山中学4年の頃。後輩の福島隆壽氏＝昭和25年卒＝と草光会（絵画部）を再興。5年の時に当時、津山の美術界でリーダー的存在だった日原晃氏に出会い、“日原システム”と呼ばれるデッサン方法を学ぶ。

「美術学校受験の予備校でも教えないような独特なもので、非常に力を付けてもらった」。昭和23年に京都市立美術専門学校（現・市立芸術大学）西洋画科に現役合格を果たす。

卒業してから旧久米町（現・津山市）の格致中（現・久米中）に勤めた4年間も、引き続き日原氏の薫陶を受ける。「仲間の小森君（俊顕氏、津山商業卒）とは一緒によく山陰へ行った」。福島氏を合わせた3人が「日原アトリエの三羽烏」と呼ばれていたころをなつかしむ。

昭和31年に朝日高校へ転任してからは、岡山市の名刹、曹源寺の連作シリーズを描くとともに、牛窓にも足を延ばした。

洋画団体の光風会会員。昭和61年には第72回光風会展で「寺内萬次郎賞」を受賞する一方、日展での計14回の入選が認められ、日展会友も委嘱されている。朝日高校を退職後は倉敷市に請われ、市立短期大学の服飾美術学科設立に尽力。同学科の教授を務め、現在名誉教授。

「家族をはじめ、先生、同窓、同僚に恵まれた。いい人に出会い、経済的にも随分助けてもらった。知らないところで、応援してくださる人も多い。有難いことだ」と感謝する。夫人の紗智子さん（昭和26年卒）も津山高校同窓生だ。

長い絵画人生の集大成として、今、牛窓の丘に立つ。

画家として今が〝旬〟の時

「小豆島は涅槃像が横たわっているように見える」「前島灯台の東側には大潮のとき、大きな渦潮ができる。前島の南側にも小さな渦潮ができる。満ち潮のときには牛窓瀬戸の西側には無数の泡が浮いてくる」

オリーブと島。そして海。題材はそろっている。

「引き潮、満ち潮、風のとき、島々の瀬戸での流れの変化など、海には人生同様いろんな表情があるんですよ」。最近、力を入れ描いているのは潮の光。「モネの『睡蓮』が有名だが、あの絵でモネは睡蓮でなく、水面にみなぎる光の空間を表現したかったのだと思う」

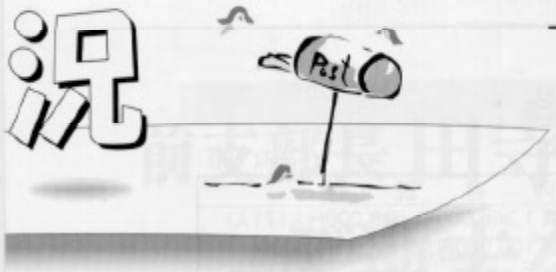
旺盛な創作意欲、探究心は衰えそうにない。

「宇宙の生命力、そういう偉大なものがちゃんと表現できると、絵を見た人が元気を出してくれるのでは」

（さかて・とくじ、昭和23年卒）

今年の光風会展出品作「潮の反映（牛窓）」

（注1）
佐竹徳：1897～1998年。「オリーブの画家」と称された日本を代表する風景画家で、日本芸術院会員。東京に家族を残し、40年間近く101歳で亡くなる2カ月前まで、牛窓オリーブ園で制作を続けた。



岡山県の初代「ITマイスター」に選ばれた

永禮 一平 さん

ＩＴ分野での高度で専門的な知識を持つ人材を確保、育成するため、ＩＴ先進県を目指す岡山県が昨年、県内の優れたＩＴ技術者や研究者の中から人材養成のリーダー役となる「おかやまＩＴマイスター」制度を創設。その初代マイスター４人のうちの１人に選ばれた。

「おこがましく、恥ずかしい感じもするが、認定された以上、きっかけを与えられたものと受け止め、活動しようと思った」

GPSを利用して移動体（タクシー、バスなど）の位置をリアルタイムに把握。現在位置から目的地までの最適な移動体を決定し、車両番号や到達時間を携帯電話、インターネットを通じて知らせる「移動体管理システム」開発の総括責任者を務め、これが評価された。

今ではおなじみとなったカーナビを活用したタクシー配車管理システムは、県内はもとより全国のタクシー会社で導入されている。「年末の忘年会ピーク時、タクシー会社に電話してもつながらないことが多かった。これは事務所が配車連絡に追われ、パンク状態だったため。この新システムの完成で受け付けから配車までが10秒ほどでできるようになった上、事務所の人数も減らせた」という。

この技術をさらに発展させたのが、バスロケーションシステム。「どこにバスがいるか。あと何分で来るかが分かるようになった」。このシステムも岡山市だけでなく、全国で導入された。

ＩＴマイスターとして、ＩＴに携わる際、どういうものが求められるか、必要な心構えなどを県立大学（総社市）の学生に話す一方、指導に当たる教授らとも意見交換する。

今年４月からは岡山リサーチパークインキュベーションセンター（岡山市芳賀）のＩＴ系インキュベーションマネジャー（非常勤）となり、週２回ほど出向く。センターは情報通信、ものづくりの分野で新技術や新製品の開発、創業を目指す個人、企業を対象に研究室を貸し、専属のインキュベーションマネジャーらが適宜アドバイスしながら起業を支援。岡山発のオンリーワン企業を育てようという施設だ。

「入居の審査基準は厳しいが、通信環境は整っている。ぜひ活用してほしい。ベンチャーを立ち上げようという考えがある人は気軽に相談を」と呼び掛ける。

「会社をつくって間もない時期に、こんな仕事をしている場合でないかもしれない。だが、若い人の熱い思い、考えていることを受け止めながら、自分の仕事にも役立てたい」

初代「おかやまITマイスター」の永禮さん

永禮さんが非常勤マネジャーを務める岡山リサーチパークインキュベーションセンター

自身も一昨年４月に両備システムズ（岡山市）の「社内ベンチャー起業支援制度」適用第１号として、有限会社・システムフロンティアを立ち上げ、社長を務めている。

津山高校を昭和46年卒業。慶応大学工学部に進み、神奈川県内の自動車メーカーに勤めた後、同58年に岡山へ戻った。

「生産ラインの設計をしていたが、２～３年周期で車は変わるものの大きな変化がないため、車にのめり込むことはなかった」。「これからはコンピューターによるシステム開発が伸びる、という読みがあり、伸びる分野に身を置くのがよいと思った」

両備システムズに入り、県内の自動車部品会社や農機具メーカーなどの生産管理システムを構築。平成６年には関連会社のリオスコーポレーションへ移り、常務も務めた。

３年目を迎えた会社はコンピューター用ソフトウエアの設計・開発から運用・保守までの一環したサービス提供を行う。社員は現在10人。「売上はまずまずだが、自分たちが目指す商品、サービスがまだ見つかっていない」としながらも、「やらなければならない仕事をするのと、自分がしたい仕事をやるのとは大違い。前向き姿勢だとストレスはたまらない」

社会に役立つシステムを

岡山県北では、自治体によるラストワンマイル（注１参照）計画の動きが目立つ。「市町村が光ケーブルを延ばすのは意味があるかもしれないが、インフラを生かすだけのサービスが果たしてできるのか」との疑問を持つ。「高齢者に役立つサービスが何かできないかと思う」

「小さくてもよいから、社会に役立つものをつくりたい。目標を持ってものを考えれば、そういう所に人もモノも集まってくるはず」。今後の事業展開に意欲満々だ。

（ながれ・いっぺい、昭和46年卒）

（注1）
ラストワンマイル　インターネットを利用する際の最寄り電話局やネット接続業者からユーザー宅までの接続回線。

平成15年度 収支決算報告

【収入の部】 (単位：円)

項目	金額	参考(13年度)	参考(増減額)	内容説明
総会等会費	1,528,000	951,000	577,000	●出席者会費 1,368,000円（@8,000円×171人） ●特別支援金 100,000円、来賓祝儀 60,000円
年会費等	743,000	500,000	243,000	●年会費 356,000円、協賛金等 387,000円
名簿広告料等	480,000	340,000	140,000	●名簿への広告掲載
繰入金	574,963	1,081,499	▲506,536	●前年度からの繰越
雑収入	16	724	▲708	
合計 (a)	3,325,979	2,873,223	452,756	

【支出の部】 (単位：円)

項目	金額	参考(13年度)	参考(増減額)	内容説明
総会等経費	1,248,044	951,700	296,344	●総会懇親会（10/25 岡山プラザホテル） （参考）前回の総会（H10.10/13 まきび会館）
企画経費	288,551	515,859	▲227,308	●総会準備会議経費 23,026円 ●出演者謝金 100,000円 ●同好会活動助成金 85,000円 ●会報編集等経費 80,525円
印刷経費	995,507	411,616	583,891	●会員名簿印刷 618,450円（600冊） ●「県南クラブ」第9号印刷他 308,227円 ●宛名シール作成料 23,470円 ●総会資料 45,360円（270部）
通信経費	226,470	330,910	▲104,440	●会報郵送料他 166,720円 ●総会出欠回答葉書代 47,450円（730通） ●役員会等通知葉書代 12,300円
合計 (b)	2,758,572	2,210,085	548,487	

【差引残額(a－b)】567,407円 ⇨ 次期への繰越金とする。

平成16年度 収支決算報告

【収入の部】 (単位：円)

項目	金額	参考(14年度)	参考(増減額)	内容説明
懇親会会費	335,000	275,000	60,000	●出席者会費 335,000円（@5,000円×67人）
年会費等	537,000	449,000	88,000	●年会費 437,000円、協賛金等 100,000円
会報広告料	425,000	330,000	95,000	●会報「県南クラブ」第10号への広告掲載
繰入金	567,407	663,138	▲95,731	●前年度からの繰越
雑収入	17	32	▲15	
合計 (a)	1,864,424	1,717,170	147,254	

【支出の部】 (単位：円)

項目	金額	参考(14年度)	参考(増減額)	内容説明
懇親会経費	339,000	287,000	52,000	●役員同好会員懇親会（7/24ミヨシノ）
企画経費	176,583	153,715	22,868	●会議経費 54,900円、同好会活動助成金 85,000円 ●会報編集等 32,338円 ●会場看板代 4,345円
印刷経費	273,127	342,832	▲69,705	●「県南クラブ」第10号印刷他（4,000部）
通信経費	374,937	358,660	16,277	●会報郵送料他 332,052円 ●懇親会案内状郵送代 23,250円 ●ホームページ作成費 19,635円
合計 (b)	1,163,647	1,142,207	21,440	

【差引残額(a－b)】700,777円 ⇨ 次期への繰越金とする。

監査報告

「津山高校同窓会岡山県南支部」の平成15年度および平成16年度における経理内容について監査した結果、正確・適正に執行していることを確認したので報告します。

平成17年6月28日

監査委員 安東 醇 ㊞

監査委員 原 好子 ㊞

社交ダンス同好会が発足

もう一度青春を始めませんか!!

県南支部で社交ダンス同好会を発足させました。社交ダンスをやった事がある人も、まだ始めるのをためらっている人も、一緒に楽しめる会を目指しています。

下記の内容で実施予定です。同窓会会員なら誰でもどうぞ。ご参加お待ちしています!!

1．名　　称　いざよいダンス同好会（仮称）
2．場　　所　ソシアルダンススタジオ　カリヨン
　　岡山市表町２－６－64　エターフェビル４Ｆ
　　TEL 086－233－0588
3．練 習 日　原則毎月第２火曜日、第４水曜日
　　13：30～16：30
　　８月は８日（火）、22日（火）です。
4．必要経費　スタジオ使用料1,000円／回
5．入会申し込み＆問い合わせ先
　　大塚利子
　　TEL & FAX 0863－51－2348
　　Ｅメール：fkdt@mx1.tiki.ne.jp（福田富男）

■発起人：中野　茂生（昭和23年卒）
　　大塚　利子（ 同 33年卒）
　　斎藤　和子（　　同　　）
　　福田　富男（昭和40年卒）

十六夜絵画クラブ

暖かい日だまりのひととき

後藤　正子

月に一度の例会は、主に第４土曜日、岡山市の岡西公民館で。

楽しい野外スケッチ＝岡山市・後楽園

「おはようございます」と明るい笑顔で次々と集まり、まずは今日のモデルさんづくり。持ち寄られた季節の花々をワイワイと活けます。「何を描こうかなー」とそれぞれ迷ったりする時間もまた楽しい。

まずはティータイムです。このひとときは先輩も後輩もなく、賑やかにお喋りタイムです。

そして、さあ!!描き始めます。和気藹々と和やかな楽しいひとときが流れます。

気候のいい時は、後楽園などへ野外スケッチに出かけたり、近隣の美術館に展覧会を見に行ったり。年に１度は１泊の親睦旅行にも行っています。

私は絵を描くことは全くの素人ですが、この仲間の中に居る時は暖かい日だまりにいるようなひとときです。これも「山は青きふるさと、水は清きふるさと」が同じだからでしょうか。

皆さん、暖かい日だまりで、ご一緒に絵を描きませんか。

（ごとう・まさこ、昭和42年卒）

■連絡先は、後藤正子さん
（☎086－422－4536）

同好会で一緒に

いざよいゴルフクラブ

岡山県内のゴルフ場で年５回程度、例会を開き、腕を競い合っています。

次回の第44回は８月30日（水）、岡山カントリークラブ（桃の郷コース）で開きます。

■参加希望者は、富岡謙二さん（☎086－277－7864）
久保村美佐子さん（☎086－253－5528）まで。

最近の成績は以下の通りです。

開催回	場所	優勝	２位	３位	ベスト・グロス
第43回（06. 5.22）	山陽ゴルフ倶楽部	難波　啓	水内　次男	筆保　博文	大内　宏之
第42回（06. 3. 7）	岡山国際ゴルフ倶楽部	渡辺　格	大内　宏之	竹本敷美子	大内　宏之
第41回（05.11.30）	山陽ゴルフ倶楽部	生田　豊成	泉　　透	米井　澄近	富岡　謙二
第40回（05. 9.25）	長崎カントリークラブ	重信久美子	大内　宏之	泉　　透	大内　宏之
第39回（05. 6.27）	グレート岡山	福田　富男	山田　　進	筆保　博文	大内　宏之

歩こう会

岡山県内を中心に旧跡などを日帰りで、のんびり楽しむ会です。１～２時間歩いた後、近くの温泉につかり、地元の産直市にも立ち寄るのが恒例です。

現在、事務局のお手伝いをしてくださる方を募集中です。

■連絡先は、蜂谷弘紀さん（☎086－284－2583）

釣り同好会

投げ釣り大会 空振り

小森 章二郎

この数回、釣り同好会の釣行は、いつも船釣りでした。今回は趣向を変え、５月28日に瀬戸内市牛窓町の西脇海水浴場で、投げ釣り大会を計画しました。が、その実は釣果よりもむしろ、砂浜で焼き肉を楽しもうという魂胆でした。併せて鱚や鰈が釣れれば儲けものと思っていました。

会員に連絡を終え、ホームページにも掲載し一同張り切っていました。ところが、釣りの神様の怒りに触れたのか、前日から天気が怪しくなり、雨が降りそうで、風も強くなる予報。投げ釣りや焼き肉は難しいと判断、やむなく中止しました。

残念ですが、秋にもう一度計画しますので、参加をお待ちしています。　（こもり・しょうじろう、昭和42年卒）

■連絡先は、小森章二郎さん（☎086－270－2600）
中山　頼和さん（☎086－282－4199）

カラオケ同好会

例会を奇数月の最終日曜日に岡山市内で開いています。

■連絡先は、小野孝志さん（☎086－284－0045）

新しい同好会を発足させましょう

２年に１度開かれる県南支部総会の親睦会も楽しいが、同窓会の交流はなんといっても同好会に参加するのが楽しい。

現在活動しているクラブが紹介されているが、その他の趣味や関心事を持っていて同窓の皆と一緒に楽しみたいと思っている方もあるのではないでしょうか。

「自分が発起人になるのはちょっと無理だけど、誰かが世話をしてくれるなら参加したい」と思ったら、幹事会のメンバーに声をかけてみてはどうでしょう。

たとえば、温泉めぐりの会だとか、海外旅行をする会など、知らない人ばかりの団体に参加するよりは、同窓の同好会ならもっと楽しいグループ旅行になるのでは。

幹事会では新しい同好会の発足をお手伝いします。関心のある方は、お気軽に相談してください。

ご連絡は、支部事務局（☎086－225－8607、電子メール soken@mxt.mesh.ne.jp）まで。

Mini ミニニュース

田村、河野両氏に叙勲

田村誠一郎さん

昨年11月の「秋の叙勲」で、昭和19年卒の田村誠一郎さん（岡山市丸の内）が旭日双光章を、同25年卒の河野宏さん（岡山市稲東町）が瑞宝中綬章をそれぞれ受章されました。

田村さんは岡山市内で皮膚・泌尿器科医院を開業し、地域住民の診療に当たる一方、岡山県医師会の理事を長年務め、医師会活動を通じて県民の健康増進に貢献されました。

受章に当たり、田村さんは「昨年は心臓発作を起こし、体外式心臓ペースメーカーを埋め込み、身内の訃報も相次ぐなど悲しいことがあった。受章が唯一の慶びごとだった。お世話になった多くの関係者の皆さんに感謝とお礼を申し上げたい」と話されています。

河野さんは、国立岩国病院長を務めるなど長年にわたり地域の健康増進に尽くされました。

次号から「お悔やみ」欄を新設

来年発行の第13号からお悔やみコーナーを新設します。この１年間に亡くなった方の情報を、各期委員から事務局にお送りいただき、ご遺族の了解を得て掲載する予定です。ご協力をお願いいたします。

会費納入のお願い

- 県南支部の活動は会費（年額1,000円）によって支えられています。
- 会費は、会報「県南クラブ」の印刷・郵送費のほか、会員の相互親睦を図る活動に充てられます。
- 納入は任意です。趣旨に賛同いただける方は会報に同封しております郵便振込用紙で納入をお願いいたします。

県南支部の最新のお知らせ、話題はホームページで

http://www1.harenet.ne.jp/~izayoi/

津山高校同窓会岡山県南支部会報
「県南クラブ」第12号
2006年８月１日発行
発行人　産賀敏彦　　編集人　片山淑雄
発行所　津山高校同窓会岡山県南支部
〒700-0816
岡山市富田町2-12-16 センチュリー富田町602号
ソーケン・プランニング内
TEL. 086-225-8607 FAX. 086-225-8600
E-mail　soken@mxt.mesh.ne.jp
URL　http://www1.harenet.ne.jp/~izayoi/